



北九州SDGs

水質汚濁防止法等の改正 及び 水質分野の監視指導状況について

北九州市環境局
環境監視部環境監視課
水質土壌係



環境未来都市 北九州市

主な内容

1 水質汚濁防止法等の改正について

- (1)大腸菌群数に係る改正について
- (2)亜鉛含有量の暫定基準について

2 水環境の保全

- (1)水環境の現況
- (2)発生源の監視
- (3)行政指導
- (4)事故時の措置

3 事例紹介

4 まとめ



1 水質汚濁防止法等の改正について

(1)大腸菌群数に係る改正について



水質汚濁防止法

排水基準を定める省令の改正

【現在】

大腸菌群数 日間平均3,000個/cm³



【令和7年4月1日から】

大腸菌数 800CFU(コロニー形成単位)/mL

※ 1日当たりの平均的な排出水の量が50m³以上の工場又は事業場に係る排出水に適用。



1 水質汚濁防止法等の改正について

(2)亜鉛含有量の暫定基準について



水質汚濁防止法 排水基準(暫定排水基準)

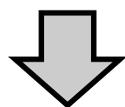
平成18年に亜鉛含有量の排水基準を強化

5mg/L → 2mg/L (一部に暫定基準を適用)

【現在】

電気めっき業に属する事業場について 4mg/L

令和6年12月10日まで



令和11年12月10日まで延長

※ 1日当たりの平均的な排出水の量が50m³以上の工場又は事業場に係る排出水に適用。

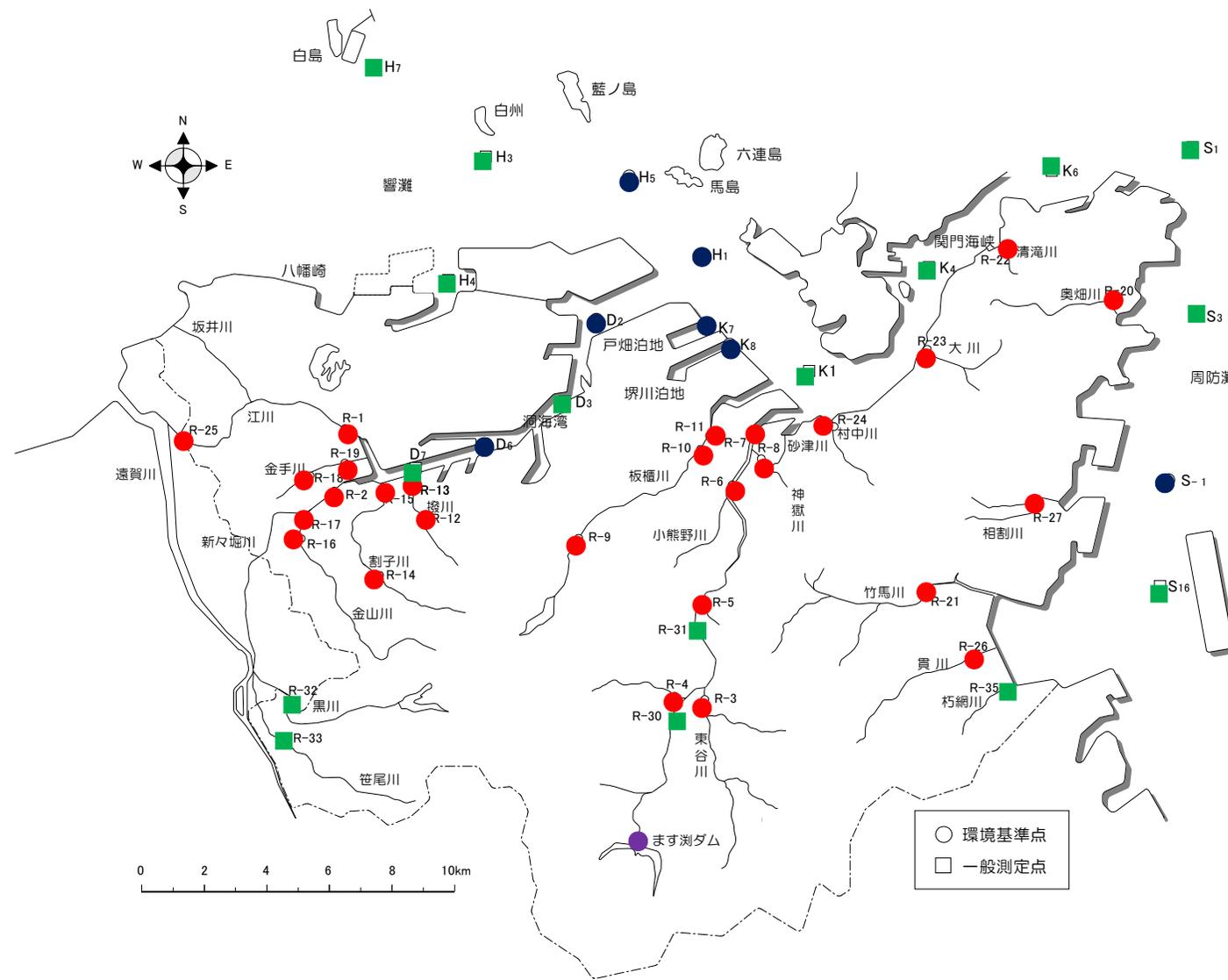


2 水環境の保全

(1)水環境の現況



北九州市の基準点(調査地点)



調査地点

河川

●環境基準点

16河川27地点

■一般測定点

4河川5地点

湖沼(ます淵ダム)

●環境基準点

1地点

海域

●環境基準点

7地点

■一般測定点

11地点

○ 環境基準点
□ 一般測定点



令和5年度 公共用水域の環境モニタリング結果

	基準超過項目	備考
河川	ほう素 1 1地点 ふっ素 3地点 大腸菌数 4地点	ほう素、ふっ素は海水の影響と判断
湖沼	—	—
海域	—	—

※ 大腸菌数は90%水質値で評価

※ 河川のほう素及びふっ素は汽水域であり、海水の影響と判断



公共用水域の環境モニタリング結果の公表

北九州市の環境モニタリング結果

■令和6年度測定結果(速報値)・・・令和6年度の河川・海域等の測定結果を掲載

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kurashi/menu01_0420.html

■北九州市の環境(環境白書)・・・平成14年度版～令和6年度版(R5年度結果)まで掲載

[https://www.city.kitakyushu.lg.jp/shisei/menu0435.html](https://www.city.kitakyushu.lg.jp/shisei/menu01_0435.html)

The screenshot shows the official website of Kitakyushu City. At the top, there is a navigation bar with the city logo and name '北九州市 CITY OF KITAKYUSHU'. Below this, there are several utility buttons: '救急医療テレフォンセンター' (Emergency Medical Telephone Center), '北九州市コールセンター' (Kitakyushu Call Center), '組織一覧・問合せ' (Organization List / Contact Us), and a search box 'サイト内検索'. A main navigation menu includes 'トップ' (Home), 'くらしの情報' (Living Information), '観光・おでかけ' (Tourism / Travel), 'ビジネス・産業' (Business / Industry), '市政情報' (Municipal Information), and '市の広報' (City Publicity). The current page is '北九州市の環境モニタリング結果' (Environmental Monitoring Results of Kitakyushu City). The breadcrumb trail is '現在位置: トップページ > くらしの情報 > 環境・住まい > 環境 > 環境保全 > 北九州市の環境モニタリング結果'. The page number is 'ページ番号: 000000484'. There are two main content areas: '令和6年度測定結果(速報値)' (Monitoring Results for Heisei 30) and '北九州市の環境(環境白書)' (Environmental White Paper of Kitakyushu City). On the right side, there is a sidebar titled '環境保全' (Environmental Protection) with a list of links: '北九州市の環境モニタリング結果' (selected), '大気汚染対策' (Air Pollution Countermeasures), '土壌汚染対策' (Soil Pollution Countermeasures), and 'アスベスト対策' (Asbestos Countermeasures).



2 水環境の保全

(2)発生源の監視



排水規制遵守のための仕組み(主な関係法令)

◆水質汚濁防止法

水質汚濁防止法施行令別表第一	特定施設
排水基準を定める省令別表第一	排水基準(有害物質)
別表第二	排水基準(その他の項目)
水質汚濁防止法施行令第三条の三	指定物質
第四条の二	指定水域
別表第二	指定地域
水質汚濁防止法施行規則第一条の五～第一条の七	総量規制基準

◆瀬戸内海環境保全特別措置法 特定施設の設置の許可

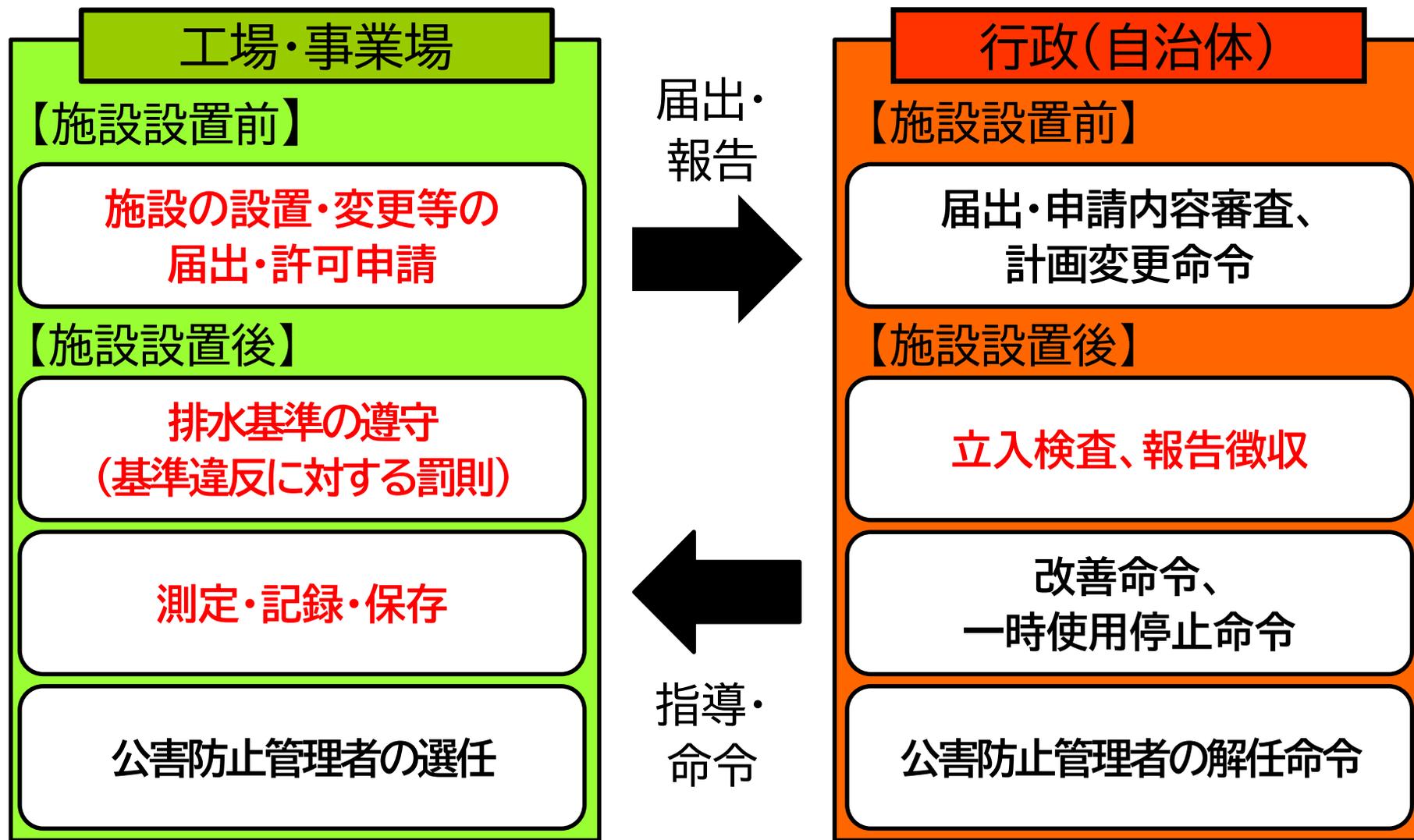


排水規制遵守のための仕組み(その他関係法令)

- ◆環境基本法
- ◆ダイオキシン類対策特別措置法
- ◆特定工場における公害防止組織の整備に関する法律
- ◆土壌汚染対策法
- ◆北九州市公害防止条例



排水規制遵守のための仕組み



立入検査時の確認内容 –水質–

届出について

- ・施設の構造や使用の方法等に変更はないか
- ・無届の施設はないか

測定実績

- ・測定回数や測定項目は適切か
- ・測定結果の保存は問題ないか
- ・測定結果は基準に適合しているか

運転管理状況

- ・施設や配管等の保守点検作業は適切か
- ・有害物質使用特定施設等からの漏洩等はないか
- ・排水処理等に異状はないか

公害防止体制の整備

- ・公害防止管理者等の選任状況
- ・管理値等を設定しているか
- ・緊急時の連絡体制は整備されているか



行政測定

令和5年度 採水実績(排水口数)

		実施件数
測 定	水質汚濁防止法	8
	瀬戸内海環境保全特別措置法	91
	ダイオキシン類対策特別措置法	1



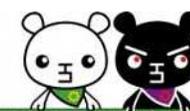
市への連絡が必要な場合

- 特定施設等の新規設置・構造等の変更
計画段階で相談を
- 排出水の排水基準超過
速やかに市に報告 ⇒ 原因究明の実施
排水基準超過結果の記録も適切に保存
※原因が判明した場合も
- 水質事故等が発生した場合の対応
応急の措置の実施
環境監視課へ連絡(事故発生速報): 582-2290
⇒「事故時の措置の届出書」の提出



2 水環境の保全

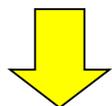
(3)行政指導



届出値超過などが生じた場合

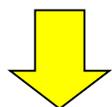
立入検査、行政測定、自主測定

☞ 自主測定において届出値超過等があった場合にも市に通報をお願いします。

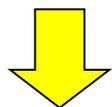


届出値、協定値、基準値等超過

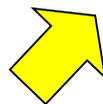
行政指導
(改善指示・文書注意・警告)



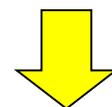
改善計画書の提出
原因調査・再発防止策の実施



改善報告



改善確認



基準値、協定値超過

改善命令

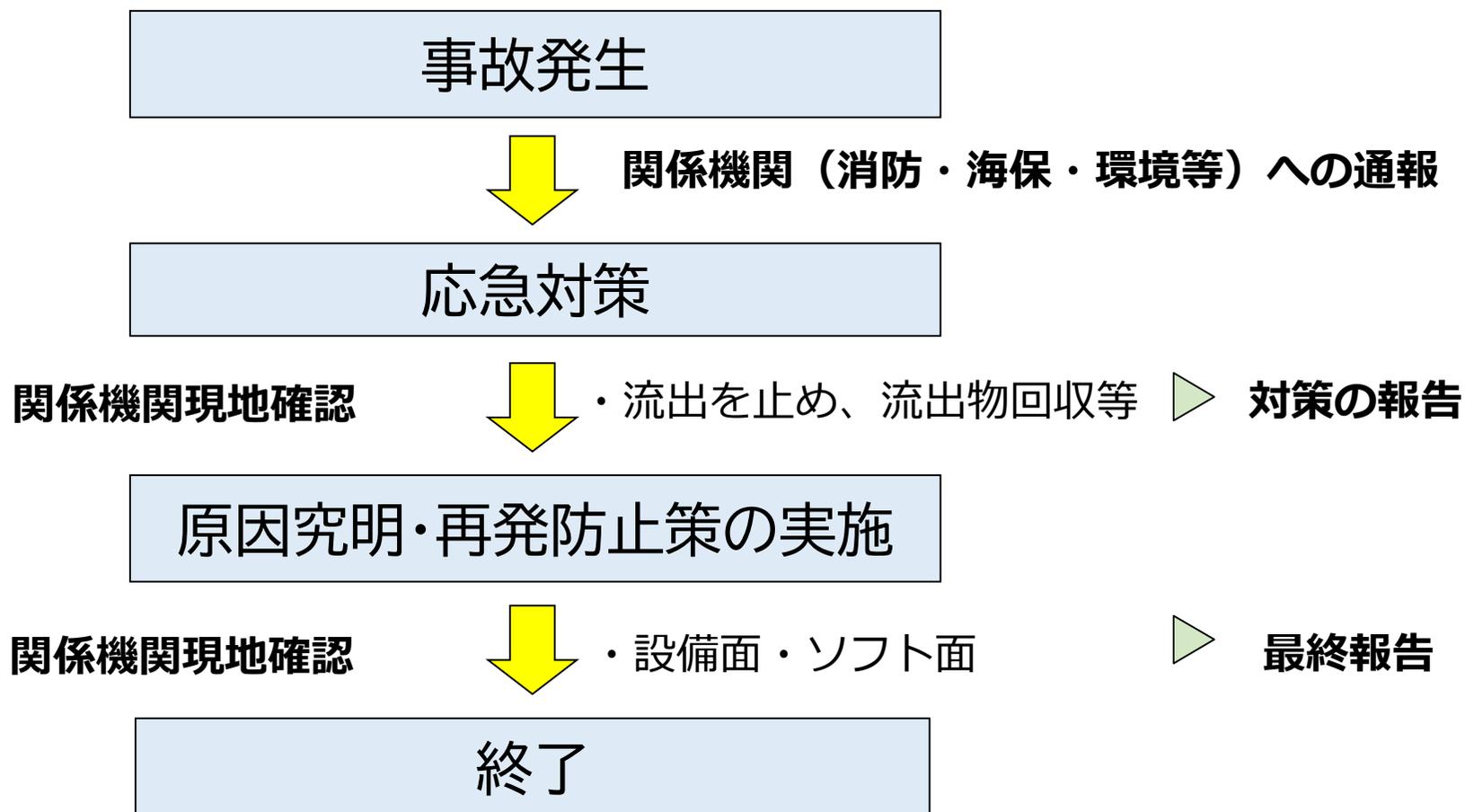


2 水環境の保全

(4)事故時の措置



事故時の措置【事故発生時の流れ】



講じた再発防止策について、継続実施が必要。



事故時の措置【有害物質等流出事故の届出】

有害物質、指定物質、油が
公共用水域に流出したとき、地下に浸透したとき



市への届出が必要
(水質汚濁防止法第14条の2)

河川管理者等から原状回復や措置に要した費用を請求される可能性があります。



3 事例紹介



令和5年度 届出値等の超過件数

	届出値等超過件数	
行政測定	0	
自主測定	2	許可申請値超過により、報告徴収
事故等	4	報告徴収



令和5年度 事例(1) 油流出事故



ボルトが脱落



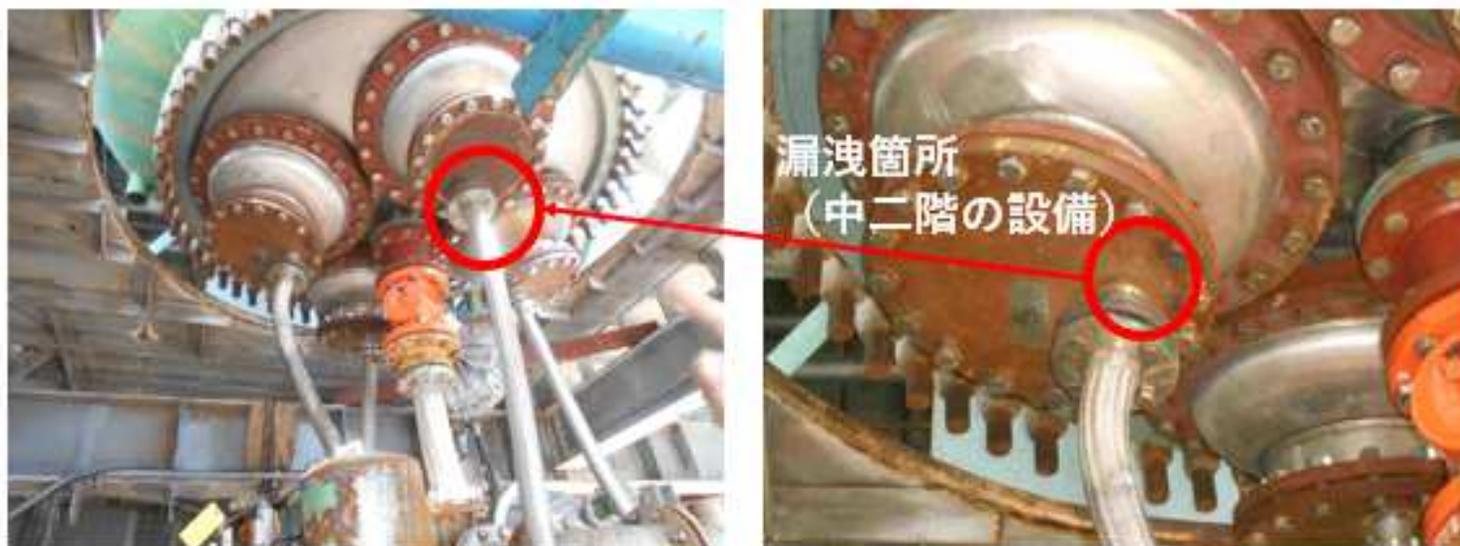
当初オイルマット設置時



オイルフェンス設置時



令和5年度 事例(2) 指定物漏えい事故



溶接部分が腐食

場外への流出なし

漏えい物質 硫酸70%、ニトロベンゼン6%の水溶液

漏えい量 420L



4 まとめ



施設の管理は適切ですか？

➤漏えい事故を未然に防止するために、環境法令の遵守、施設の日常的な管理に努め、異常が発生した場合の体制を整備しておくことが重要。

排出水の規制



- ・届出事項に変更はないか(施設、排水系統等)
- ・測定回数は適切か
- ・設備の点検状況は適切か
- ・測定結果の確認・報告体制は整備されているか
- ・異常時の対応について体制は整備されているか

地下水汚染未然防止



- ・漏洩箇所はないか
- ・日常点検は適切か
- ・点検結果の確認・報告体制は整備されているか



ご清聴ありがとうございました。

